

植物多様性センターの「ウマノスズクサの秘密」

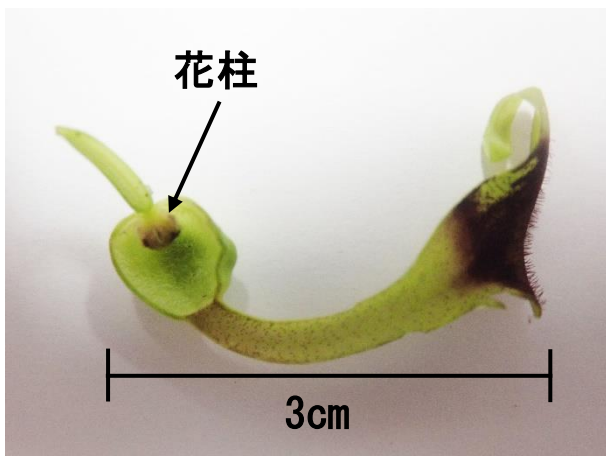
情報館東側のプランターでウマノスズクサが開花しました。花に花弁はなく、3個の萼片が合着しています。ラッパの様な形をしていて非常にユニークです。この筒状の花の中では毛が内側に向いて密生していて、昆虫が入りやすく出にくい構造になっています。ウマノスズクサの名前の由来は果実が馬の首に下げる鈴に似ているからとのことですが、果実がなっているところはめったに見られません。東京都(本土部)では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。



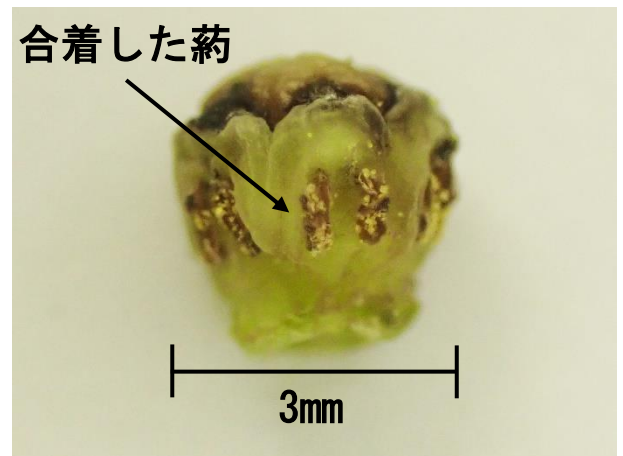
ウマノスズクサの花



花の先端部:毛が内側に向いて密生している



花の断面:球体の中には6個の花柱がある



花柱と葯:花柱の中で葯が合着している